

# 会計連動オプション（弥生会計）

会計連動オプション機能を導入することで、弥生会計、勘定奉行i8との仕訳連動が可能となります。  
当資料では、「弥生」に関する連動オプションを説明します。

## 1. 概要説明

### 1) 仕訳対象となるデータ

- ◆ ふくろう販売の各伝票入力画面（売上、仕入、入金、支払入力）から登録した各データ
- ◆ 請求締切処理または支払締切処理で作成される一括消費税データ

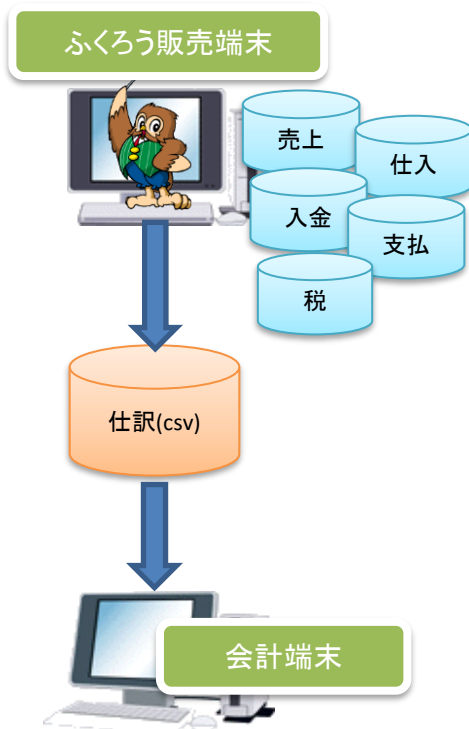
各伝票入力画面では明細で「伝区」（伝票区分）が指定でき、この伝区ごとに仕訳科目が設定されます。

### ◇ 売上入力、入金入力画面例

行No	伝区	商品コード	品名
1	掛売上		テスト商品
2	掛経費	TEST	テスト

行No	伝区	取引口座	口座種別	入金額
1	振込入			500
2	現金入			580

### 2) 仕訳データ連動処理の流れ



① ふくろう販売の伝票登録（売上、仕入、入金、支払入力）  
処理等で、各伝票データが日々蓄積されます。

② ふくろう販売の仕訳作成処理で、会計ソフト側の  
インポート形式に対応した仕訳データが作成されます。

③ 会計端末側で、仕訳ファイルをインポートします。

※ ふくろう販売端末、会計端末は同一端末でも異なる端末でも作業できます。

※ ふくろう販売側で補助科目や取引先を追加、修正した場合、会計ソフト側も同様の修正が必要です。

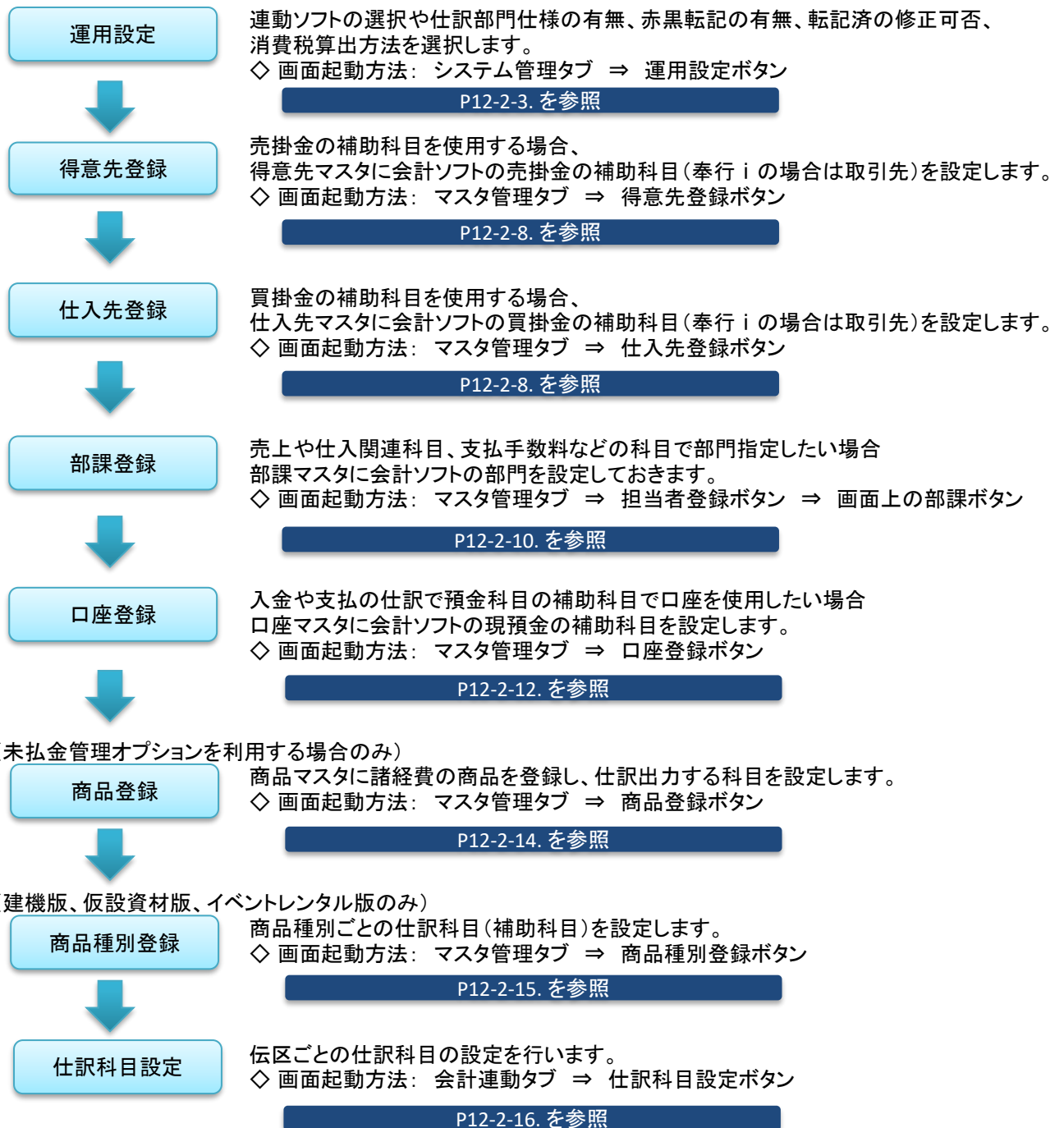
3) 設定できる補助科目、取引先、部門

- ◆ 売掛金、買掛金の補助科目に得意先、仕入先を連動できます。
- ◆ 売上や仕入関連科目の部門を使用する場合、ふくろうの部課を部門として連動できます。
- ◆ 入金や支払の預金の補助科目として口座を使用する場合、ふくろうの口座を補助科目として連動できます。

会計連動オプションが有効になると、各マスタ画面で補助科目や取引先が指定できるようになりますので、会計ソフト側で設定しているものと同じ内容で設定します。

4) 会計連動 運用開始までの流れ

会計連動を導入するには以下の流れで設定を行います。



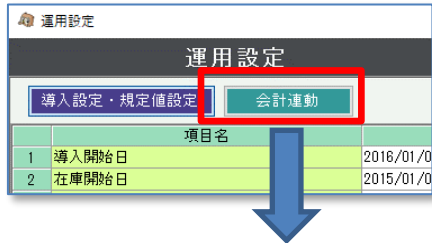
以上の設定を完了すると、運用が開始できます。

2. 会計連動 運用開始するための登録・設定

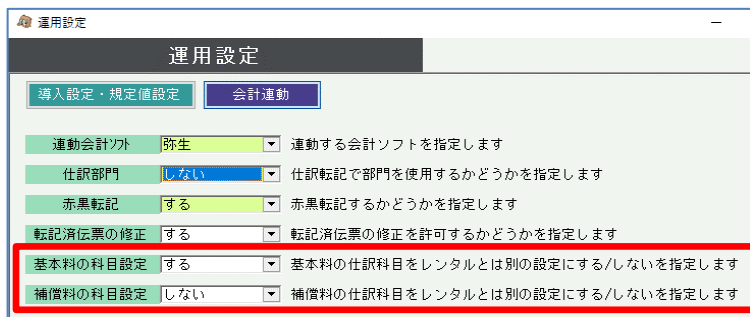
1) 運用設定での会計連動設定

- ① 会計連動設定画面にて、連動ソフトの選択や仕訳部門の使用有無、赤黒転記の有無、転記済の伝票修正可否などを設定できます。

◇ 運用設定画面：システム管理タブ ⇒ 運用設定ボタン ⇒ 画面上の会計連動ボタン  
運用設定画面上部の「会計連動」ボタンを押下します。

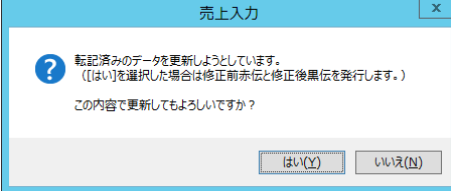
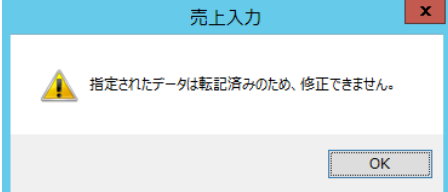


以下の画面で各項目の設定をします。



※基本料の科目設定は建機版、仮設資材版のみ。補償料の科目設定は建機版のみ

項目名称	説明
連動会計ソフト	<p>連動する会計ソフトが選択されています。 ※システム導入時にあらかじめ設定されており、変更はできません。</p>
仕訳部門	<p>会計連動を行う場合、部門を使用するかどうか選択できます。 「する」にした場合は、部課マスタにて補助科目を指定できるようになり、会計側の部門がマスタに指定できるようになります。</p> <p style="text-align: center;">部門の設定はP12-2-10. を参照</p>
赤黒転記	<p>伝票修正、削除時に赤伝黒伝仕訳(修正仕訳)作成を行うかどうかを選択します。 ※すでに登録されている伝票が存在する場合、変更はできません。</p> <p>◆ 赤黒転記とは・・・ 例) 一度仕訳作成済の売上で、100円を150円と金額訂正した場合再度同一売上を仕訳すると以下のような赤黒仕訳が作成されます。</p> <p style="text-align: center;">                 売掛金 -100円 / 売上高 -100円 ⇒ 赤                  売掛金 150円 / 売上高 150円 ⇒ 黒             </p> <p>※伝票削除の場合は、赤明細のみが仕訳されます。 ※赤黒転記しない場合は、黒明細のが仕訳されます。</p>
基本料の科目設定 補償料の科目設定	<p>(建機版、仮設資材版のみ。補償料の科目設定は建機版のみ) 基本料と補償料の仕訳科目(補助科目)を設定するかを選択します。 する ... 商品種別登録で基本料(補償料)が表示され科目を登録できます。 仕訳では基本料(補償料)に指定した科目が採用されます。 しない ... 基本料(補償料)が紐づくレンタルの科目で仕訳作成されます。</p>

項目名称	説明
転記済み伝票の修正	<p>会計ソフトへの仕訳連動を使用している場合、転記済みの伝票の修正を認めるか認めないかを選択します。 設定は運用途中いつでも変更可能です。</p> <p>◆ 「する」を選択している場合・・・ 転記済みの伝票を修正、削除しようとした場合、以下のような警告表示されますが更新は可能となります。</p>  <p>◆ 「しない」を選択している場合・・・ 転記済みの伝票を修正、削除しようとした場合、以下のような警告表示され更新は不可となります。</p> 

② 運用設定画面で、消費税の調整法を設定します。

◇ 運用設定画面：システム管理タブ ⇒ 運用設定ボタン

以下の設定箇所です。税算出法が「一括税」か「調整税」かを選択できます。

1	導入開始日	2014/09/01	ふくろう販売の本番開始日です。導入後に変更不可になる項目もあ
2	決算月日	0899	会社の決算月日です。mmd形式で指定してください。(日部分は1～
3	入力可能年月日自	2010/09/01	これ以降の日付の伝票のみ登録できます。誤登録を防ぐために使用
4	入力可能年月日至	2999/12/31	これ以前の日付の伝票のみ登録できます。誤登録を防ぐために使用
5	受発注入力可能年月日自	2011/09/01	これ以降の日付の伝票のみ登録できます。誤登録を防ぐために使用
6	受発注入力可能年月日至	2999/12/31	これ以前の日付の伝票のみ登録できます。誤登録を防ぐために使用
7	税算出法	一括税	会計連動している場合に会計に流れる消費税の単位を指定します
8	税計算方法	請求(支払)時外税	得意先、仕入先の新規登録時初期値です
9	消費税コード	7C1V1N	消費税のコードです

税算出法とは・・・

得意先や仕入先の税転嫁が請求時・支払時の一括消費税計算である場合で仕訳作成するときの消費税計算方式を選択できます。

- ◆ 一括税： 締切処理で作成した消費税伝票の消費税を表示します。  
締切処理をするまでは消費税の仕訳が作成・転記されません。
- ◆ 調整税： 明細行ごとの消費税を表示します。  
明細行ごとの消費税を集計するので締切前でも消費税額を確認することができます。

消費税算出方法詳細は次項を参照

税算出法と消費税仕訳の関係について

例：得意先の設定が、毎月20日締の請求時外税計算、税端数処理は切捨てである場合を例に説明します。

売上入力

① 3月1日 に売上入力にて以下の3行の明細が入力されたとします。

明細消費税(A)は明細単位でシステム内部で保持していますが画面では表示されません。

明細情報							
削除	伝区 出荷	商品コード 品名	売上数量	種別 単位	売上原単価 売上単価	売上原価	売上金額
1	<input type="checkbox"/> 掛売上	1 テスト商品	1.0		0 77	0 77	
2	<input type="checkbox"/> 掛売上	1 テスト商品	1.0		0 77	0 77	
3	<input type="checkbox"/> 掛売上	1 テスト商品	1.0		0 77	0 77	
*	<input type="checkbox"/> 掛売上		0.0		0 0	0 0	

明細消費税	
¥7	A
¥7	
¥7	

② 3月20日 に請求締切処理をしたとします。

請求締切処理後、売上入力画面で確認すると消費税伝票(伝票Noオール9)が自動作成されています。

明細は以下のように消費税明細が自動作成され、計上日は3月20日となります。

金額は売上合計¥231に対する請求時消費税¥23が計上されます。

請求対象である売上の明細消費税合計¥21(A)との差額¥2が内部的に明細消費税(B)にセットされます。

削除	伝区 出荷	商品コード 品名	倉庫コード 倉庫略名	売上数量	種別 単位	売上原単価 売上単価	売上原価 消費税額
256	<input type="checkbox"/> 税掛請	ZETIKIN 消費税		0.0		0 0	0 23

明細消費税	
¥2	B

③ 請求締切日以降の3月30日 に以下の1行の明細が入力されたとします。

明細消費税(C)は①同様に内部的に¥7がセットされますが画面では表示されません。

明細情報							
削除	伝区 出荷	商品コード 品名	売上数量	種別 単位	売上原単価 売上単価	売上原価	売上金額
1	<input type="checkbox"/> 掛売上	1 テスト商品	1.0		77 77	77 77	
*	<input type="checkbox"/> 掛売上		0.0		0 0	0 0	

明細消費税	
¥7	C

仕訳作成

上記売上データを一括税、調整税それぞれで仕訳した場合の仕訳イメージです。

※ 仕訳作成は毎日実行しており、伝票別転記方式と仮定します。

◆「一括税」設定での仕訳の場合

① 3月1日 の仕訳

売掛金	¥231	/	売上高	¥231
			貸方消費税	¥0

通常伝票は弥生の税区分が「別記」で設定されますが消費税はセットされません

② 3月20日 の仕訳

売掛金	¥23	/	売上高	¥23
			(内消費税)	(¥23)

消費税伝票は弥生の税区分が「内税」で設定され全額消費税で仕訳されます。

③ 3月30日 の仕訳

売掛金	¥77	/	売上高	¥77
			貸方消費税	(¥0)

①同様、消費税はセットされません。結果、弥生側で3/1~3/31で集計すると消費税は②の額となります。

◆「調整税」設定での仕訳の場合

① 3月1日 の仕訳

売掛金	¥252	/	売上高	¥252
			(内消費税)	(¥21)

調整税では弥生の税区分が「内税」で設定され消費税は[A]がセットされます

② 3月20日 の仕訳

売掛金	¥2	/	売上高	¥2
			(内消費税)	(¥2)

消費税伝票は弥生の税区分が「内税」で設定され全額[B]の調整税がセットされます。

③ 3月30日 の仕訳

売掛金	¥84	/	売上高	¥84
			(内消費税)	(¥7)

①同様、消費税は[C]がセットされます。結果、弥生側で3/1~3/31で集計すると消費税は[A]+[B]+[C]の額となります。

◇ 税区分

ふくろうの売上傳票、仕入伝票の税区分は商品マスタの税区分が初期設定されます。  
 売上傳票、仕入伝票の明細行の税区分は入力時に変更可能です。  
 （選択する税区分は消費税率登録にて追加、変更できます）

弥生会計への仕訳作成では、出力される税区分は伝区や税率などによりあらかじめ決まっています。  
 詳しくは、仕訳設定「◇ 税区分の設定文字列表」をご確認ください。

税区分の詳細はP12-2-18. を参照

「マスタ管理」→「商品登録」

売上傳票の明細行（仕入も同じ）

行No	削除	伝区	商品コード	品名	品名2	倉庫コード	倉庫略名	種類	売上数量	売上単価	売上原価	売上金額	備考	仕入先	税区分
1	<input type="checkbox"/>	掛売上	01-0000	テスト製品		0000	共通倉庫		0.00	100,000.00	0	0			課税
*	<input type="checkbox"/>	掛売上							0.00	0.00	0	0			



2) 得意先登録、仕入先登録での設定

① 得意先の補助科目を使用した仕訳概要

弥生側で売掛金や買掛金の補助科目で得意先や仕入先を使用している場合、売上や仕入の仕訳時に弥生に登録している補助科目名をセットして仕訳連動できます。  
 （得意先、仕入先補助は伝票別転記または取引先別転記の場合のみ有効となります）

補助科目を設定すると、以下のように仕訳されます。

例) テスト得意先に掛で210円の売上が発生した。

振替伝票						
日付(D):	0501	伝票No.(N):	2	決算仕訳(Y):		
借方勘定科目	借方金額	貸方勘定科目	貸方金額	摘要		
借方補助科目	消費税額	貸方補助科目	消費税額	借方税区分	貸方税区分	
借方部門		貸方部門				
売掛金	210	売上高	210	01	テスト得意先 7(7)	
テスト得意先		本社			課税売上8%	別記

得意先、仕入先の補助科目セットされる仕訳(初期設定)

初期設定は、以下表の補助に「○」がある箇所補助科目がセットされ仕訳されます。

◇ 売上系の仕訳 補助科目初期設定

※以下は売掛金に対する売上や入金仕訳例です。

※掛売上の処理が現金処理に変わる場合は以下の売掛金が現金、前受処理の場合は前受金となります。

処理	伝区	借方科目	補助	貸方科目	補助
掛売上	掛売上	売掛金	○	売上高	
	掛返品	売上戻り高		売掛金	○
	掛値引	売上値引高		売掛金	○
	掛経費	売掛金	○	雑収入	
	税掛伝	売掛金	○	売上高	
	税掛請	売掛金	○	売上高	
掛入金	振込入金	当座預金		売掛金	○
	振込料	支払手数料		売掛金	○
	現金入金	現金		売掛金	○
	小切手入金	現金		売掛金	○
	手形入金	受取手形		売掛金	○
	値引	売上値引高		売掛金	○
	相殺	買掛金	○	売掛金	○

◇ 仕入系の仕訳 部門初期設定

※以下は買掛金に対する仕入や支払の仕訳例です。

※掛仕入の処理が現金処理に変わる場合は以下の買掛金が現金、前払処理の場合は前渡金となります。

※諸経費の借方科目にはダミーが設定されていますが、出力値は商品登録の借方科目コードです。

処理	伝区	借方科目	補助	貸方科目	補助
掛仕入	掛仕入	仕入高		買掛金	○
	掛仕返品	買掛金	○	仕入戻り高	
	掛値引	買掛金	○	仕入値引高	
	掛経費	雑費		買掛金	○
	諸経費	(ダミー)	○	未払金	
	税掛伝	仕入高		買掛金	○
	税掛支	仕入高		買掛金	○
掛支払	振込支払	買掛金	○	当座預金	
	振込料	当座預金		支払手数料	
	現金支払	買掛金	○	現金	
	小切手支払	買掛金	○	当座預金	
	手形支払	買掛金	○	支払手形	
	値引	買掛金	○	仕入値引高	

② 画面での補助科目設定方法

◇ 得意先登録、現場登録画面

弥生会計の売掛金の補助に登録している補助科目を指定します。  
 全角文字では12文字まで使用可能です（半角は24文字）。  
 得意先と現場それぞれ別で登録でき、売上時に現場している場合は現場で指定している補助科目が優先されます。得意先と現場で同じ名称を設定することも可能です。

請求書種類	標準	手形サイト	0 日
手数料負担	当方	相殺仕入先	
取引口座		得意先種別	通常得意先
事業所	本社		
弥生補助 <b>テスト得意先</b>			

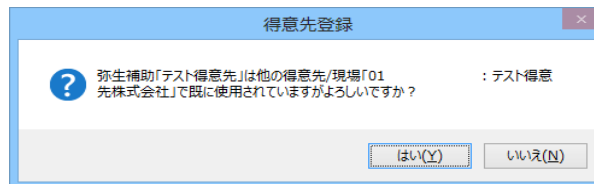
◇ 仕入先登録画面

弥生会計の買掛金の補助に登録している補助科目を指定します。  
 全角文字では12文字まで使用可能です（半角は24文字）。

注文書種類	標準	即時発行区分	伝票機能による
手数料負担	先方	手形サイト	0 日
取引口座		相殺得意先	
弥生補助 <b>テスト仕入先</b>			

【注意点】

- ・ 新規の取引先で弥生会計側に補助科目が未登録の場合、ふくろう側에만補助科目設定して仕訳連動すると、弥生で仕訳データインポート時に自動的に補助科目を追加することができます。そのため、新規取引先追加時にふくろうと弥生同時に補助科目追加する必要はありません。
- ・ 半角文字と全角文字は別の補助科目と判定されますが、インポート時にマッチングして同じ補助科目とすることができます。
- ・ 異なる得意先で同じ補助科目を指定することは可能です。登録ボタン押下時に重複チェックされ、重複している場合は以下の警告が表示されますがそのまま登録も可能です。





4) 部課登録での設定

① 部門仕訳概要

弥生会計側で部門別仕訳をしている場合、売上や仕入関連の仕訳時に弥生に登録している部門をセットして仕訳連動できます。

部門コードを使用する場合は運用設定で部門の使用を「する」に設定する必要があります。

運用設定はP12-2-3.を参照

部門設定すると、以下のように仕訳されます。

例) 「輸入品事業部」で、テスト得意先に掛売で210円売上が発生した。

振替伝票						
日付(D):		05/01	伝票No.(N):		2	決算仕訳(V):
	借方勘定科目	借方金額	貸方勘定科目	貸方金額	摘要	
	借方補助科目	消費税額	貸方補助科目	消費税額	借方税区分	貸方税区分
	借方部門		貸方部門			
	売掛金	210	売上高	210	01	テスト得意先 (7)
	テスト得意先					課税売上0%
			輸入品事業部			別記

部門セットされる仕訳(初期設定)

初期設定は、以下表の部門に「○」がある箇所に部門がセットされ仕訳されます。

◇ 売上系の仕訳 部門初期設定

※以下は売掛金に対する売上や入金仕訳例です。

※掛売上の処理が現金処理となる場合は売掛金が現金(100)、前受処理の場合は前受金(340)となります。

処理	伝区	借方科目/コード	部門	貸方科目/コード	部門
掛売上	掛売上	売掛金		売上高	○
	掛返品	売上戻り高	○	売掛金	
	掛値引	売上値引高	○	売掛金	
	掛経費	売掛金		雑収入	○
	税掛伝	売掛金		売上高	○
	税掛請	売掛金		売上高	○
掛入金	振込入金	当座預金		売掛金	
	振込料	支払手数料	○	売掛金	
	現金入金	現金		売掛金	
	小切手入金	現金		売掛金	
	手形入金	受取手形		売掛金	
	値引	売上値引高	○	売掛金	
	相殺	買掛金		売掛金	

◇ 仕入系の仕訳 部門初期設定

※以下は買掛金に対する仕入や支払仕訳例です。

※掛仕入の処理が現金処理となる場合は買掛金が現金(100)、前払処理の場合は前払金(170)となります。

※諸経費の借方科目にはダミーが設定されていますが、出力値は商品登録の借方科目コードです。

処理	伝区	借方科目/コード	部門	貸方科目/コード	部門
掛仕入	掛仕入	仕入高	○	買掛金	
	掛仕返品	買掛金		仕入戻り高	○
	掛値引	買掛金		仕入値引高	○
	掛経費	雑費	○	買掛金	
	諸経費	(ダミー)	○	未払金	
	税掛伝	仕入高	○	買掛金	
	税掛支	仕入高	○	買掛金	
	掛支払	振込支払	買掛金		当座預金
	振込料	当座預金		支払手数料	○
	現金支払	買掛金		現金	
	小切手支払	買掛金		当座預金	
	手形支払	買掛金		支払手形	
	値引	買掛金		仕入値引高	○

② 画面での部門設定方法

- ◇ 部課登録画面： マスタ管理タブ ⇒ 担当者登録 ⇒ 画面上の「部課」ボタン  
 弥生会計に登録している部門名を指定します。  
 全角文字では12文字まで使用可能です（半角は24文字）。

削除	事業所	部課コード	部課名	部課略名	弥生部門
<input type="checkbox"/>	本社	0001	本社	本社	本社
<input type="checkbox"/>	本社				

【注意点】

- ・ 異なる部課で同じ部門名を指定することは可能です。  
 登録ボタン押下時に重複チェックされ、重複している場合は警告が表示されますが  
 そのまま登録も可能です。
- ・ 半角文字と全角文字は別の補助科目と判定されますが、インポート時にマッチングして同じ補助科目と  
 することができます。

③ ふくろう販売での部門の採用方法

ふくろう販売では売上、仕入、入金、支払入力画面で指定された「担当者」から部門を判定します。  
 担当者は必ず一つの「部課」に所属します。その部課に設定されている「部門」を  
 仕訳にセットします。

担当者から部課が決定されます。

削除	部課	担当者コード	担当者名	担当者略名
<input type="checkbox"/>	0001 本社	0001	鈴木 一郎	鈴木 一郎
<input type="checkbox"/>	0001 本社	9999	管理者	管理者

部課から弥生部門が決定します。

削除	事業所	部課コード	部課名	部課略名	弥生部門
<input type="checkbox"/>	本社	0001	本社		本社
<input type="checkbox"/>	本社				

5) 口座登録での設定

① 口座を使用した仕訳概要

弥生会計で預金科目の補助科目で口座を使用している場合、入金や支払の仕訳時に弥生に登録している補助科目名をセットして仕訳連動できます。

預金科目の補助科目を設定すると、以下のように仕訳されます。

例) テスト得意先株式会社売掛金に対して、普通預金 リそな銀行吹田支店に100円の振込入金が発生した。

振替伝票					
日付(D):		06/30	伝票No.(N):		9
			決算仕訳(V):		
借方勘定科目	借方金額	貸方勘定科目	貸方金額	摘要	
借方補助科目	消費税額	貸方補助科目	消費税額	借方税区分	
借方部門		貸方部門			
当座預金	100	売掛金	100	01 テスト得意先 1(1)	
りそな銀行吹田支店		テスト得意先			

口座の補助科目セットされる仕訳(初期設定)

初期設定は、以下表の口座に「○」がある箇所に補助科目がセットされ仕訳されます。

- ◇ 入金系の仕訳 口座初期設定  
※以下は売掛金に対する入金の仕訳例です。

処理	伝区	借方科目	口座	貸方科目	口座
掛入金	振込入金	当座預金	○	売掛金	
	振込料	支払手数料		売掛金	
	現金入金	現金		売掛金	
	小切手入金	現金		売掛金	
	手形入金	受取手形		売掛金	
	値引	売上値引高		売掛金	
	相殺	買掛金		売掛金	

- ◇ 支払系の仕訳 口座初期設定  
※以下は買掛金に対する支払の仕訳例です。  
※未払金は「未払金管理オプション」使用時のみ出力されます

処理	伝区	借方科目	口座	貸方科	口座
掛支払	振込支払	買掛金		当座預金	○
	振込料	当座預金	○	支払手数料	
	現金支払	買掛金		現金	
	小切手支払	買掛金		当座預金	○
	手形支払	買掛金		支払手形	
	値引	買掛金		仕入値引高	
	未払金	未払金		買掛金	

② 画面での口座設定方法

- ◇ 口座登録画面： マスタ管理タブ ⇒ 口座登録  
 弥生会計側に登録している預金科目の補助科目を指定します。  
 英数字で、運用設定で指定した桁数まで（最大4桁）指定できます。

口座登録							
削除	コード	口座名	銀行力ナ名	支店力ナ名	口座力ナ名義	弥生補助	
1	0001	りそな銀行吹田支店 当座				りそな銀行吹田支店	

【注意点】

- ・ 異なる口座で同じ補助科目名を指定することは可能です。  
 登録ボタン押下時に重複チェックされ、重複している場合は警告が表示されますが  
 そのまま登録も可能です。
- ・ 半角文字と全角文字は別の補助科目と判定されますが、インポート時にマッチングして同じ補助科目と  
 することができます。

③ ふくろう販売での口座の採用方法

ふくろう販売では入金、支払入力画面で指定された「取引口座」から普通預金か当座預金かを判定します。  
 同時に選択したその口座に設定されている「補助科目」を仕訳にセットします。

入金入力							
伝票指定		新規伝票					
伝票No	1	入金伝区種類					
請求先	01	テスト得意先株式会社					
基本情報							
入金日	2015/06/30	請求締日	2015/07/20	売上回収予定日	20		
担当者	0001 鈴木 一郎	事業所	本社		手形サイト	0日	
摘要							
明細情報							
行No	削除	伝区	取引口座		口座種別	入金額	
1		振込入	りそな銀行吹田支店	普通	普通	100	

選択した口座より口座種別（当座・普通）を判定し勘定科目を決定し、  
 同時に補助科目名を採用して仕訳されます。

口座登録								
削除	コード	口座名	口座種別	口座番号	銀行力ナ名	支店力ナ名	口座力ナ名義	弥生補助
1	0001	りそな銀行吹田支店 当座	当座	1234567				りそな銀行吹田支店
2	0002	りそな銀行吹田支店 普通	普通	1234568				りそな銀行吹田支店

6) 商品登録での設定

※1 仕入伝票の諸経費は「未払金管理オプション」ご利用時のみ使用される伝区です  
借方科目には(ダミー)が設定されていますが、実際には商品マスタで登録した諸経費の借方科目、補助科目(必要であれば)が設定されます。

未払金管理オプションを利用している場合、「諸経費区分」「(諸経費の)借方科目」「(諸経費の)補助科目」を商品登録で指定できます。

諸経費チェックがONの商品は仕入伝票で「諸経費」伝区の明細行に商品を指定できます。  
作成される仕訳データの借方科目、借方補助には商品登録の内容が出力されます。

※2 支払伝票で入力した未払金は、支払の伝区にはありませんが、仕訳データは未払金のみ集計、出力されます。(「未払金管理オプション」利用時のみ、支払入力で未払金の入力が可能です)

支払に未払金伝区はないため、仕訳設定はできません。作成される未払金の仕訳には下記の内容が設定されます。

借方科目	仕入「諸経費」伝区の貸方科目(初期設定 未払金)
借方補助	(出力なし)
貸方科目	仕入「掛仕入」伝区の借方科目(初期設定 買掛金)
貸方補助	仕入先の弥生補助

7) 商品種別登録での設定

※ 建機版、仮設資材版のみ登録できます。

① 商品種別ごとの仕訳概要

売上传区（掛売上、現売上）の仕訳に限り、貸方科目または貸方補助科目を商品種別ごとに科目を設定します。商品種別登録に科目を設定していない場合は、科目設定の値が科目に採用されず。

商品種別登録										
削除	商品種別分類	内訳区分	コード	名称	略名	表示順	使用区分	弥生 売上勘定科目	弥生 売上補助科目	
	販売	販売	001	販売	販売	7	使用する			2/08/1
<input type="checkbox"/>	販売	運賃	002	運賃	運賃	8	使用する	運賃売上		2/02/1
<input type="checkbox"/>	販売	修理	003	修理	修理	9	使用する			2/03/1
<input type="checkbox"/>	販売	燃料	004	燃料	燃料	10	使用する			2/03/1
<input type="checkbox"/>	販売	その他	005	作業	作業	255	使用する			2/03/1
<input type="checkbox"/>	販売	販売	008	値引	値引	255	使用する			2/03/1
<input type="checkbox"/>	減失	販売	051	減失	減失	11	使用する	減失売上		2/08/1
			061	基本料	基本	255	使用しない	基本料売上		2/08/1
	一括	い列	101	一括	一括	5	使用する	リース売上		2/11/1
	日極一括	い列	104	日極一括	日極一括	6	使用する	リース売上		2/14/1
	日極	い列	111	日極	日極	1	使用する	リース売上		2/11/1
	月極	い列	121	月極	月極	2	使用する	リース売上		2/16/1
	月極日割	い列	141	月極日割	月極日割	3	使用する	リース売上		2/14/1
	月極切替	い列	151	月極切替	月極切替	4	使用する	リース売上		2/17/1
<input type="checkbox"/>	販売	販売				255	使用する			

※ 画面は建機版です

上記登録の場合、日極や月極などの仕訳は下記のように仕訳られます。

売掛金 / リース売上

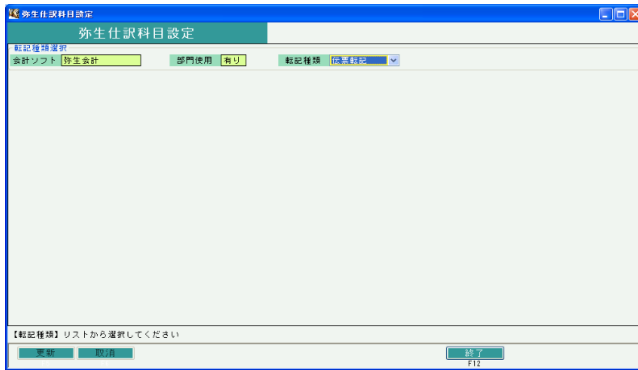
勘定科目ではなく補助科目に登録をした場合は下記のように仕訳られます。

売掛金(〇〇得意先) / 売上高(リース売上)

6) 仕訳科目の設定手順

会計ソフトとの仕訳連動する場合、基準となる仕訳を各伝票ごとに設定しておきます。  
当メニューは運用設定の会計連動設定にて「連動会計ソフト」を設定してある場合のみ、使用することができます。

①会計連動メニューの仕訳科目設定を起動します。

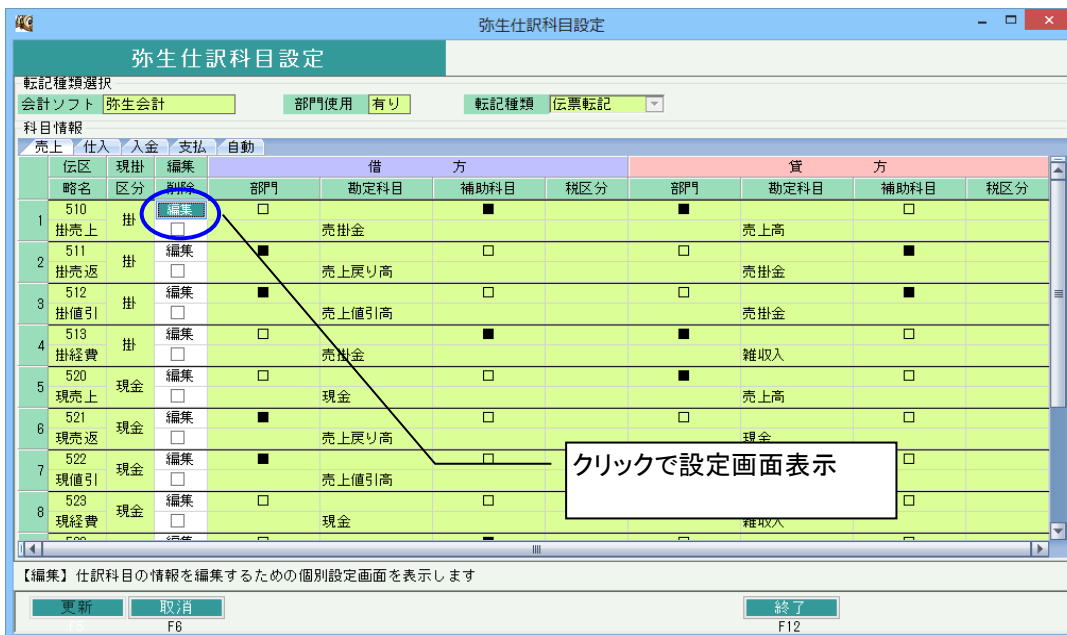


② 仕訳で使う転記種類を以下から選択します。  
通常仕訳で使用しない転記種類は設定しておく必要はありません。

- ◆ 伝票転記・・・各伝票・伝票区分ごとに仕訳伝票を作成します。  
仕訳の伝票日付はふくろうの伝票日付と同日になります。
- ◆ 日別転記・・・伝票種類・伝票区分・各伝票日付ごとに仕訳伝票を作成します。  
仕訳の伝票日付はふくろうの伝票日付と同日になります。
- ◆ 取引先別転記・・・指定した期間を合算し、伝票種類・伝票区分・取引先ごとに仕訳伝票を作成します。  
取引先を使用していない仕訳は合計転記と同様の仕訳です。  
仕訳の伝票日付は仕訳作成時の出力範囲Toの日付と同日になります。
- ◆ 合計転記・・・指定した期間を合算し、伝票種類・伝票区分ごとに仕訳伝票を作成します。  
仕訳の伝票日付は仕訳作成時の出力範囲Toの日付と同日になります。

③ 転記種類を選択すると、設定されている伝票ごとの一覧が表示されます。

④ 仕訳はどの転記方法であろうが、必ず伝票区分(伝区)ごとに設定する必要があります。  
設定は対象となる伝区の編集ボタンクリックにて設定画面が開きます。



編集画面から当画面に戻った後は必ず「更新」ボタン押下して終了してください。  
更新せず画面閉じると、編集画面で指定した内容が更新されません。



◇ 仕訳科目設定 - 個別設定画面

伝区ごとの仕訳科目を設定します。

⑤ 上図 太枠内を入力します。

項目名	説明
借方(貸方)科目	仕訳時の借方(貸方)勘定科目名を指定します。
借方(貸方)補助	チェックON時は各伝票に応じて、得意先や口座で指定した補助科目をセットします。ただし、日別転記、合計転記の場合は補助なしとなります。(チェックONしても無視されます) チェックOFF時はテキストボックスに入力された名称を補助科目とします
口座使用チェック (振込系仕訳のみ)	振込入金などの口座を指定するのが前提となっている科目箇所ではチェックOnにすると入金入力や支払入力で口座選択時、その口座の種別が当座か普通かで勘定科目を切替えます。 チェックOnの場合は、上段に当座預金の勘定科目、下段に普通預金の勘定科目を指定します。 設定なし、または口座指定なしだった場合は、通常通り借方または貸方科目に指定された勘定科目で仕訳されます。
借方(貸方)部門	チェックON時は部課マスタの弥生部門名を仕訳の部門としてセットします。 ただし、運用設定の会計連動設定にて仕訳部門使用が「しない」になっている場合は部門ごとに仕訳されません。 チェックOFF時はテキストボックスに入力された名称を部門とします
借方(貸方)税区分	税区分は次項にある税区分表の組み合わせで決定され自動的にその文字列がセットされます。 税区分の文字列は弥生インポート時にマッチングすることで弥生の税区分と一致させることができます。 ただし、入金、支払の「振込料」「値引」に関する仕訳のみ、当画面にて税区分の文字列を手入力で指定できます。
摘要	仕訳時に固定でセットしたい文字列がある場合は指定します。 セットされている場合は、仕訳作成処理時に選択した摘要文字は無視されます。
取引タイプ	「伝票以外」「出金伝票」「入金伝票」「振替伝票」から選択します。 選択したタイプが仕訳日記帳の「タイプ」列に表示されます。
付箋1, 2	弥生仕訳に設定できる付箋1と2の色を、それぞれ、なし・茶・緑・青・黄・赤から選択できます。 設定すると、弥生側の検索で、取込した仕訳だけを検索するのに便利です。
調整	弥生仕訳に設定できる「調整」欄にチェックONとするかどうかをyesかnoで選択します。 調整マークは、検索や仕訳の絞り込み機能で仕訳の表示を絞り込む場合に使用できます。
仕訳メモ	弥生仕訳に設定できる「仕訳メモ」欄に固定でセットする文字があれば指定します。メモがあるとアイコン表示され、振替伝票画面で確認できます。

◇ 仕訳設定項目の、仕訳日記帳への反映箇所

前項で指定した各項目は、弥生の仕訳日記調では、以下の箇所を確認できます。

仕訳日記帳															
調整		タイプ		仕訳メモ											
期間(Q)	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	決	全期間(Y)	ジャンプ(M)
決算	調整	日付	タイプ	借方勘定科目	借方金額	貸方勘定科目	貸方金額	摘要							
付箋1	付箋2	伝票No.	生成元	借方補助科目	消費税額	貸方補助科目	消費税額	借方税区分	貸方税区分						
		05/01	[振伝]	借方部門		貸方部門									
		10		売掛金	225	売上高	225		摘要です。						
				テスト			(15)		課税売上8%			内税			
		05/20				本社			17.01 テスト得意先 999999999999						
						売上高									

付箋1, 2

◇ 税区分の設定文字列表

仕訳時にセットされる「借方税区分」「貸方税区分」は以下の条件に応じて固定文字列がセットされます。「対象外」以外の場合は、税区分名の後ろに仕訳日時点での税率が付加され出力されます(例: 課税売上外8%)以下の「順or逆仕訳」とは売上、仕入の返品や値引関連が逆仕訳となります。「税算出法」は「伝票単位＝一括税」、「行単位＝調整税」を意味します。

【 売上データの場合 】

伝区 = 売上等 → 売上、経費、伝票毎外税

転記種類	税処理区分	税算出法	伝区	順or逆仕訳 ※1	明細行税率	借方税区分	貸方税区分
伝票転記 or 取引先別 転記	伝票 - 内	無条件	売上等	順	0	対象外	非課売上
			値引or返品	逆		対象外	非課売返
			売上等	順	0以外	対象外	"課税売上内" & 税率 & "%"
			値引or返品	逆		対象外	"課税売返内" & 税率 & "%"
	伝票 - 外	無条件	売上等	順	0	対象外	非課売上
			値引or返品	逆		対象外	非課売返
			売上等	順	0以外	対象外	"課税売上外" & 税率 & "%"
			値引or返品	逆		対象外	"課税売返外" & 税率 & "%"
	請求 - 外	伝票単位	売上等	順	0	対象外	非課売上
			値引or返品	逆		対象外	非課売返
			売上等	順	0以外	対象外	"課税売上別" & 税率 & "%"
			値引or返品	逆		対象外	"課税売返別" & 税率 & "%"
行単位		請求時税行	-		対象外	課税売上内	
		売上等	順	0	対象外	非課売上	
		値引or返品	逆		対象外	非課売返	
		売上等	順	0以外	対象外	"課税売上内" & 税率 & "%"	
請求時税行	値引or返品	逆		対象外	"課税売返内" & 税率 & "%"		
	請求時税行	-		対象外	課税売上内		
	税計算なし	無条件	売上等	順	無条件	対象外	非課売上
			値引or返品	逆		対象外	非課売返
日別転記 or 合計転記	無条件	無条件	売上等	順	0	対象外	非課売上
			値引or返品	逆		対象外	非課売返
			売上等	順	0以外	対象外	"課税売上内" & 税率 & "%"
			値引or返品	逆		対象外	"課税売返内" & 税率 & "%"
			請求時税行	-		対象外	課税売上内

【 仕入データの場合 】

伝区＝仕入等 → 仕入、経費、伝票毎外税、諸経費（未払金）

転記種類	税処理区分	税算法	伝区	順or逆仕訳 ※ 1	明細行税率	借方税区分	貸方税区分
伝票転記 or 取引先別 転記	伝票－内	無条件	仕入等	順	0	対象外	対象外
			値引or返品	逆		対象外	対象外
			仕入等	順	0以外	"課対仕入内" & 税率 & "%"	対象外
			値引or返品	逆		"課対仕返内" & 税率 & "%"	対象外
	伝票－外	無条件	仕入等	順	0	対象外	対象外
			値引or返品	逆		対象外	対象外
			売上等	順	0以外	"課対仕入外" & 税率 & "%"	対象外
			値引or返品	逆		"課対仕返外" & 税率 & "%"	対象外
	支払－外	伝票 単位	仕入等	順	0	対象外	対象外
			値引or返品	逆		対象外	対象外
			仕入等	順	0以外	"課対仕入別" & 税率 & "%"	対象外
			値引or返品	逆		"課対仕返別" & 税率 & "%"	対象外
		支払時税行	－		課対仕入内	対象外	
		行 単位	仕入等	順	0	対象外	対象外
			値引or返品	逆		対象外	対象外
			仕入等	順	0以外	"課対仕入内" & 税率 & "%"	対象外
値引or返品	逆		"課対仕返内" & 税率 & "%"	対象外			
支払時税行	－		課対仕入内	対象外			
税計算なし	無条件	仕入等	順	無条件	対象外	対象外	
		値引or返品	逆		対象外	対象外	
日別転記 or 合計転記	無条件	無条件	仕入等	順	0	対象外	対象外
			値引or返品	逆		対象外	対象外
			仕入等	順	0以外	"課対仕入内" & 税率 & "%"	対象外
			値引or返品	逆		"課対仕返内" & 税率 & "%"	対象外
			支払時税行	－		課対仕入内	対象外

※ 1 逆仕訳の場合、借方/貸方で税区分を入れ替えるので、最終的に仕訳出力される段階では、  
値引or返品伝区は借方/貸方が逆になる。

【注意点】

- ◆ 入金の前払について…  
入金の前払の仕訳は 買掛金／売掛金 としても問題ありません。  
この場合、仕訳リストには消費税が表示されますが、会計ソフトに取り込んだ際に無視されます。
- ◆ 返品や値引の逆仕訳  
返品や値引きは売上時に金額がマイナスで入力されています。  
通常は 売掛金 / 売上高 で金額マイナスで仕訳される場合もありますが、ふくろう販売では金額プラスで 売上値引き及び戻し高／売掛金 のような逆仕訳を前提としています。
- ◆ 画面に「自動」というタブがありますが、これはシステムが自動作成する消費税伝票の仕訳です。実際に設定が必要となるのは以下となります。

伝区		内容	初期設定	
コード	名称		借方科目	貸方科目
961	税掛伝	掛売上に対する伝票毎税の端数調整税の仕訳です。	売掛金(135)	売上高(500)
965	税掛伝	掛仕入に対する伝票毎税の端数調整税の仕訳です。	仕入高(604)	買掛金(305)
971	税現伝	現金売上に対する伝票毎税の端数調整税の仕訳です。	現金(100)	売上高(500)
975	税現伝	現金仕入に対する伝票毎税の端数調整税の仕訳です。	仕入高(604)	現金(100)
981	税前伝	前受売上に対する伝票毎税の端数調整税の仕訳です。	前受金(340)	売上高(500)
985	税前伝	前払仕入に対する伝票毎税の端数調整税の仕訳です。	仕入高(604)	前払金(170)
991	税掛請	掛売上に対する請求時一括の消費税の仕訳です。	売掛金(135)	売上高(500)
992	税前請	前受売上に対する請求時一括の消費税の仕訳です。	前受金(340)	売上高(500)
995	税掛支	掛仕入に対する支払時一括の消費税の仕訳です。	仕入高(604)	買掛金(305)
996	税前支	前払仕入に対する支払時一括の消費税の仕訳です。	仕入高(604)	前払金(170)

※ コード961～985は、得意先や仕入先の税処理が伝票毎税の場合に発生する区分となります。  
例えば以下のように¥77の明細が3行あった場合、各明細の消費税は内部的に¥7となります。  
しかし、全金額の合計に対する消費税は¥23となるため¥2の差異が発生します。  
その差異を調整するため、内部的に調整税の明細を追加しています。  
仕訳作成の場合に、この調整税の仕訳を決定するのがコード991～985となります。

行no	伝区	入力金額	明細消費税	※税端数は切捨てとします
1	掛売上	¥77	¥7	
2	掛売上	¥77	¥7	
3	掛売上	¥77	¥7	
256	税掛伝		¥2	→調整税行が内部的につくられます
合計		¥231	¥23	

仮受消費税、仮払消費税で仕訳しない理由

本来消費税の科目は売上や仕入ではなく仮受消費税や仮払消費税となりますが、会計ソフト側では税込、税抜表示が選択され、税込の場合は、売上高や仕入高科目の税額含めて表示されます。仮受消費税や仮払消費税で仕訳すると、この切換え表示ができなくなりますのでふくろうからの仕訳では、消費税も売上高や仕入高で仕訳をし、内部的には全額消費税額としてセットして仕訳しています。

例 ) ○○商事の請求時一括消費税が100円だったときの仕訳

※全額消費税としているため、税抜表示すると売上高は¥0となります。

借方科目	金額	貸方科目	金額
取引先		取引先	(内消費税額)
売掛金	100円	売上高	100円
○○商事		○○商事	(100円)

⇒全額消費税セット

仕訳科目 初期設定内容まとめ

主な項目の初期設定内容

◇ 売上、入金

処理	伝区	借方科目	補助	部門	口座	税区	貸方科目	補助	部門	口座	税区
掛売上	掛売上	売掛金	○				売上高		○		
	掛返品	売上戻り高		○			売掛金	○			
	掛値引	売上値引高		○			売掛金	○			
	掛経費	売掛金	○				雑収入		○		
現金売上	現売上	現金	○				売上高		○		
	現売返品	売上戻り高		○			現金	○			
	現値引	売上値引高		○			現金	○			
	現経費	現金	○				雑収入		○		
前受売上	前売上	前受金	○				売上高		○		
	前売返品	売上戻り高		○			前受金	○			
	前値引	売上値引高		○			前受金	○			
	前経費	前受金	○				雑収入		○		
掛入金	振込入金	当座預金			○		売掛金				
	振込料	支払手数料		○		課仕入内	売掛金				
	現金入金	現金					売掛金				
	小切手入金	現金					売掛金				
	手形入金	受取手形					売掛金				
	値引	売上値引高		○		課売返内	売掛金				
	相殺	買掛金	○				売掛金	○			
前受入金	前振込入	当座預金			○		前受金				
	前振込料	支払手数料		○		課仕入内	前受金				
	前現金入	現金					前受金				
	前小切手入	現金					前受金				
	前手形入	受取手形					前受金				
	前値引	売上値引高		○		課売返内	前受金				
	前振替	前受金	○				売掛金	○			

◇ 仕入、支払

掛仕入	掛仕入	仕入高		○			買掛金	○			
	掛仕返品	買掛金	○				仕入戻し高		○		
	掛値引	買掛金	○				仕入値引高		○		
	掛経費	雑費		○			買掛金	○			
	諸経費 ※1	(ダミー)					未払金	○			
現金仕入	現仕入	仕入高		○			現金	○			
	現仕返品	現金	○				仕入戻し高		○		
	現値引	現金	○				仕入値引高		○		
	現経費	雑費		○			現金	○			
前払仕入	前仕入	仕入高		○			前渡金	○			
	前仕返品	前渡金	○				仕入戻し高		○		
	前値引	前渡金	○				仕入値引高		○		
	前経費	雑費		○			前渡金	○			
掛支払	振込支払	買掛金	○				当座預金			○	
	振込料	当座預金			○		支払手数料		○		
	現金支払	買掛金	○				現金				
	小切手支払	買掛金	○				当座預金			○	
	手形支払	買掛金	○				支払手形				
	値引	買掛金	○				仕入値引高		○		課仕返内
	未払金 ※2	未払金					買掛金				
前払支払	前振込支	前渡金	○				当座預金			○	
	前振込料	当座預金			○		支払手数料		○		
	前現金支	前渡金	○				現金				
	前小切手支	前渡金	○				当座預金			○	
	前手形支	前渡金	○				支払手形				
	前値引	前渡金	○				仕入値引高		○		課仕返内
	前振替	買掛金	○				前渡金	○			

◇ 自動(消費税)

処理	伝区	借方科目	補助	部門	口座	税区	貸方科目	補助	部門	口座	税区
消費税	税掛伝	売掛金	○				売上高		○		
	税掛伝	仕入高		○			買掛金	○			
	税現伝	現金					売上高		○		
	税現伝	仕入高		○			現金				
	税前伝	前受金	○				売上高		○		
	税前伝	仕入高		○			前渡金	○			
	税掛請	売掛金	○				売上高		○		
	税前請	前受金	○				売上高		○		
	税掛支	仕入高			○		買掛金	○			
	税前支	仕入高			○		前渡金	○			



3. 会計連動 仕訳作成手順

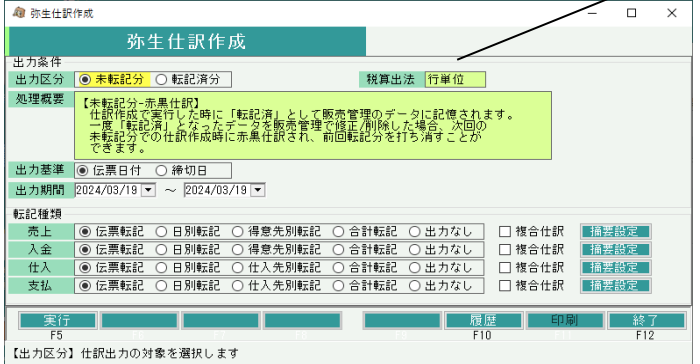
会計ソフトとの仕訳連動するためのテキストデータを出力できます。

また、作成した仕訳リストの発行もできます。

当メニューは運用設定の会計連動設定にて「連動会計ソフト」を設定してある場合のみ、使用することができます。

1) 仕訳作成手順

①会計連動メニューの仕訳作成を起動します。



運用設定の指定してある税算出法が表示されます。  
◆ 一括税＝伝票単位  
◆ 調整税＝行単位

以下の各設定をします。各設定値は実行処理時に前回値記憶されます。

- ◆ 出力区分にて「未転記分」か「転記済分」を選択できます。  
一度転記した伝票を修正した場合、その伝票は未転記となります。

【注意点】

転記済分で転記する場合は、過去に仕訳したデータ全て出力されるため注意が必要です。  
なるべく出力期間を限定して出力してください。  
勘定奉行で再度インポートする場合は、該当日でインポートした仕訳を勘定奉行側一旦全て削除後再度インポートすることをお勧めします。

- ◆ 出力基準と出力期間を指定します。

出力基準＝伝票日付の場合日付を範囲指定、出力基準＝締切日の場合締切日を指定履歴ボタンを押すことで、過去に出力済みの期間を確認することもできます。

【注意点1】

売上日を変更した場合、変更後の売上日が出力範囲に含まれるとその仕訳が作成されます。仕訳は変更前の売上日の赤伝と、変更後の売上の黒伝で作成されます。そのため、売上日を過去に変えた場合は仕訳が漏れる可能性があり、特に注意が必要です。対応として未転記分を仕訳する場合は、出力範囲は常に期首日～期末日指定で日々実行、仕訳することをお勧めします。

- ・4月2日指定で仕訳し転記した後、売上日を4月1日に変更したとします。
- ・4月2日指定で仕訳すると、4月1日の伝票が取得できず赤黒仕訳がされません。
- ・結果、会計ソフト側には4月2日の売上が残ったままとなります。
- ・対応として、日々の仕訳作成は期首日～期末日を常に指定しておけばこの問題は発生しません。

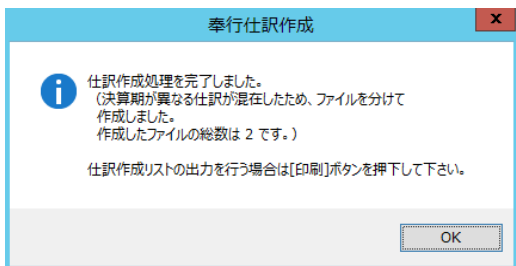
変更前：4月2日



変更後：4月1日

【注意点2】

決算日をまたがる出力範囲を指定して実行した場合、自動的に決算日ごとの仕訳データに分割して作成されます。そのとき、以下のようなメッセージが通知されます。



売上日を決算日またいで翌期に修正した場合も修正後の売上日で仕訳作成すれば前期の赤伝と今期の黒伝が別ファイルで自動作成されます。



- ◆ 転記種類を各伝票ごとに選択します。  
仕訳しない伝票は「出力なし」を選択します。  
仕訳データは伝票の1明細が1行ずつに仕訳されるのではなく、設定した単位で集計されて仕訳されます。  
集計単位は以下の4つから選択でき、各単位ごとに科目設定ができます。  
※①から④の順で仕訳行数は少なくなります。  
※仕訳作成時は、売上、仕入、入金、支払ごとに集計単位を別で仕訳できます

- ◆ 伝票転記・・・各伝票・伝票区分ごとに仕訳伝票を作成します。  
仕訳の伝票日付はふくろうの伝票日付と同日になります。
- ◆ 日別転記・・・伝票種類・伝票区分・各伝票日付ごとに仕訳伝票を作成します。  
仕訳の伝票日付はふくろうの伝票日付と同日になります。
- ◆ 取引先別転記・・・指定した期間を合算し、伝票種類・伝票区分・取引先ごとに仕訳伝票を作成します。  
取引先を使用していない仕訳は合計転記と同様の仕訳です。  
仕訳の伝票日付は③出力期間T<sub>o</sub>の日付と同日になります。
- ◆ 合計転記・・・指定した期間を合算し、伝票種類・伝票区分ごとに仕訳伝票を作成します。  
仕訳の伝票日付は③出力期間T<sub>o</sub>の日付と同日になります。

- ◆ 複合仕訳するかどうかチェックできます。  
仕訳作成時、借方もしくは貸方で同一科目が複数行存在する場合、複合仕訳とするかどうか選択できます。  
複合仕訳は以下の例のように仕訳するかどうかで選択してください。  
※振替伝票のように、1:Nや2:3などの仕訳を可とするかの設定です。

◆ 複合仕訳OFF				
普通預金	1000円	／ 売掛金	1000円	
現金	100円	／ 売掛金	100円	
◆ 複合仕訳ON				
普通預金	1000円	／ 売掛金	1100円	
現金	100円	／		

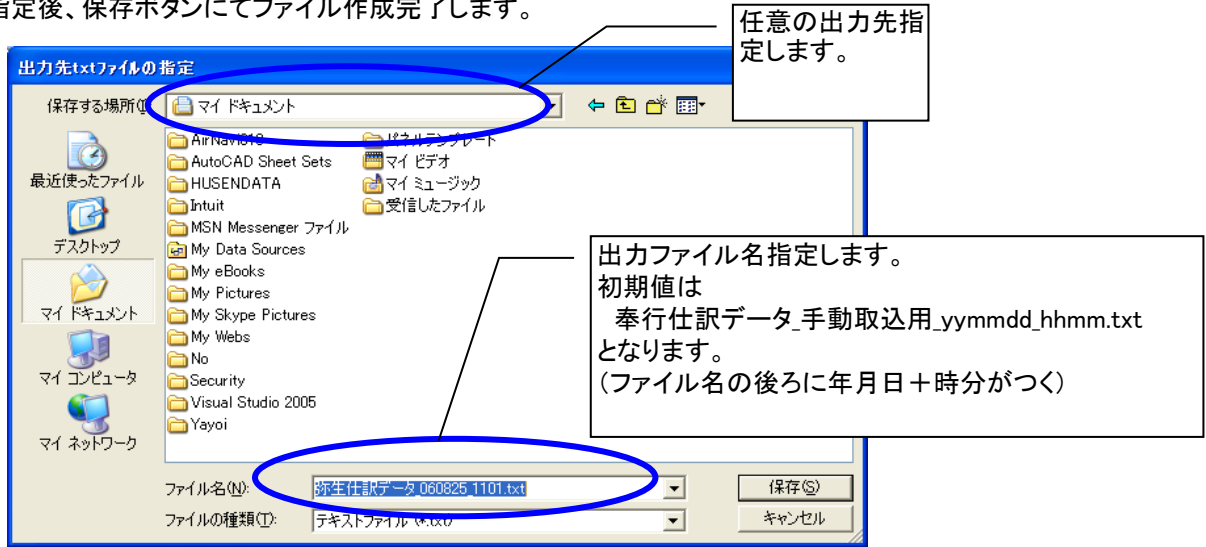
- ◆ 摘要文字の設定について  
仕訳作成時、売上、仕入、入金、支払それぞれでどういった文字列をセットするか選択できます。  
指定できるパターンは以下となります。

- ◆ 売上傳票の場合
  - ・ 得意先コード+売上傳票No+売上データNo
  - ・ 得意先略名+売上傳票No+回収予定日
  - ・ 売上傳票の摘要1+摘要2
- ◆ 入金伝票の場合
  - ・ 得意先コード+入金伝票No+売上データNo
  - ・ 得意先略名+入金伝票No+回収予定日
  - ・ 入金伝票の摘要1+摘要2
- ◆ 仕入伝票の場合
  - ・ 仕入先コード+仕入伝票No+仕入データNo
  - ・ 仕入先略名+仕入伝票No+決済予定日
  - ・ 仕入伝票の摘要1+摘要2
- ◆ 支払伝票の場合
  - ・ 仕入先コード+支払伝票No+支払データNo
  - ・ 仕入先略名+支払伝票No+決済予定日
  - ・ 支払伝票の摘要1+摘要2

ただし、仕訳科目設定で摘要の固定文字をセットしてある伝区の場合は上記設定は無視され、固定文字が出力されます。

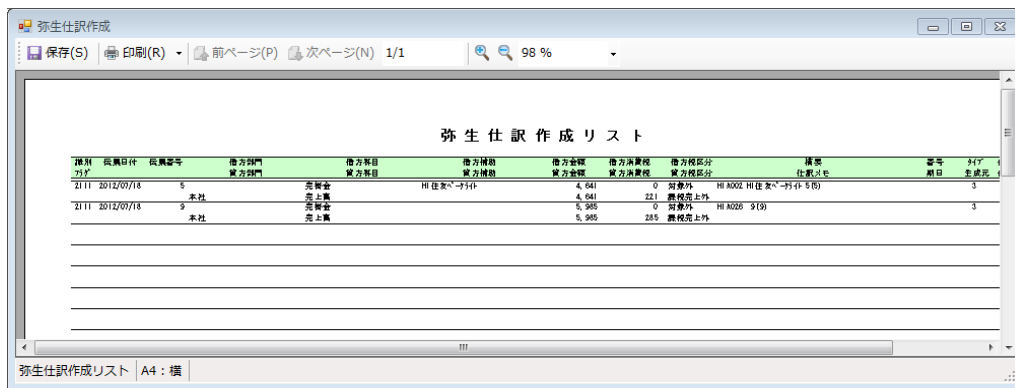
② すべての設定が完了したら「実行」ボタンで仕訳データ作成します。

実行ボタンを押すと、出力先とファイル名指定の画面が開きます。  
指定後、保存ボタンにてファイル作成完了します。



③ 実行終了し、対象の仕訳データが存在した場合は「印刷」ボタンが押せるようになります。

印刷ボタンを押すと仕訳作成リストがプレビュー表示されます。  
プリントアウトして保管することをお勧めします。

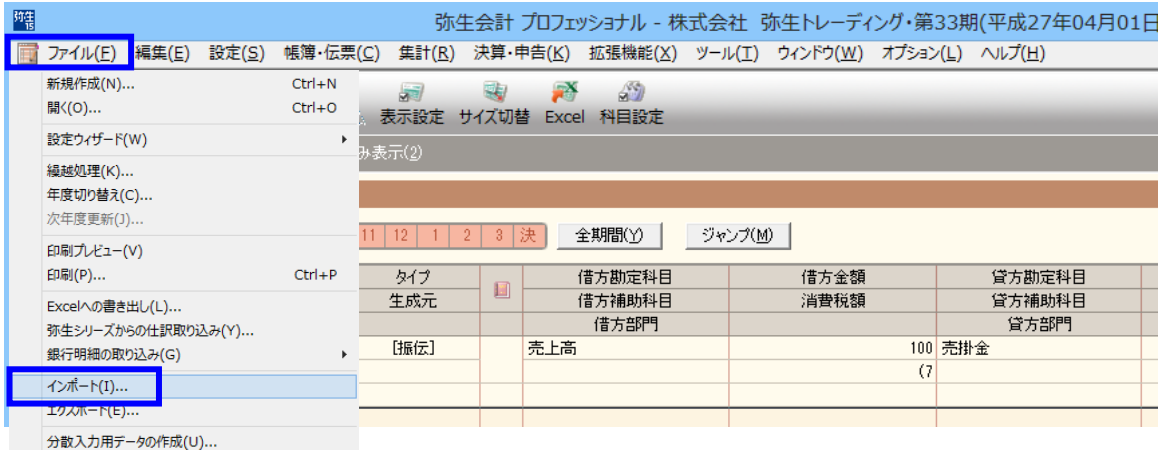


※画面下の「履歴」ボタンをクリックすると、仕訳作成履歴を確認できます。

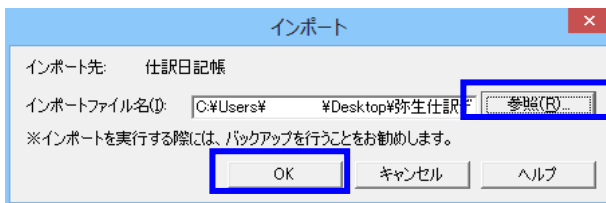
2) 仕訳インポート手順

・ふくろうから出力したテキストファイルを以下の手順でインポートします。

- ① 弥生会計を起動し、「取引」メニュー内の「仕訳日記帳」を開きます。
- ② 画面左上部メニューにある「ファイル」から「インポート」を選択します。



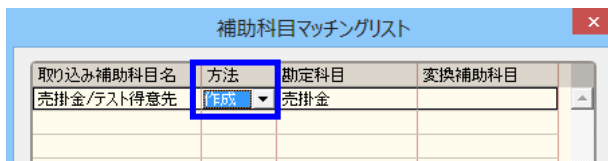
- ③ 参照ボタンでふくろうから出力したテキストファイルを選択し、OKボタン押下します。



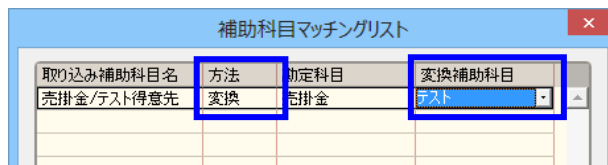
- ④ ふくろう販売で登録している補助科目名、部門名、課税区分などが弥生会計側に登録されていない場合、以下のようなマッチングリスト画面が自動表示されます。

弥生会計に未登録で、新規作成したい場合は「方法」欄で「作成」を選択し、「OK」ボタンで次へ進みます。他の登録済の値と紐づけたい場合は「変換」を選択し、変換先となる値を右から選んでください。

◇マッチングリスト：「作成」の場合



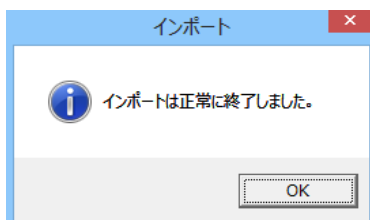
◇マッチングリスト：「変換」の場合



※変換は、ふくろうが半角で弥生会計側が全角で登録しているなど、同じ補助科目であるのに違う値で登録されている場合にマッチングすることができます。

一度マッチングすると、次回からは自動でその科目に変換して仕訳されます。

- ⑤ 正常終了すると、以下のメッセージが表示されます。

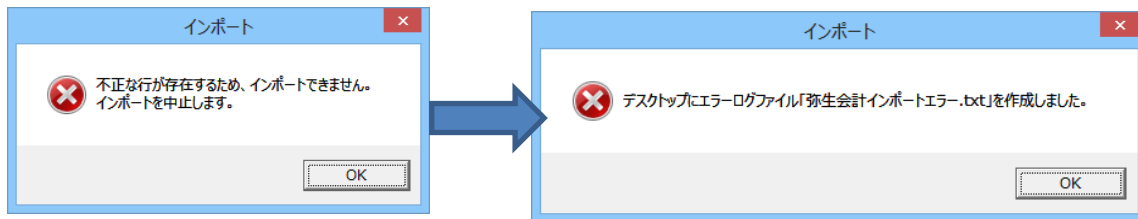


⑥ 取込んだデータは仕訳日記帳や振替伝票画面で確認が可能です。

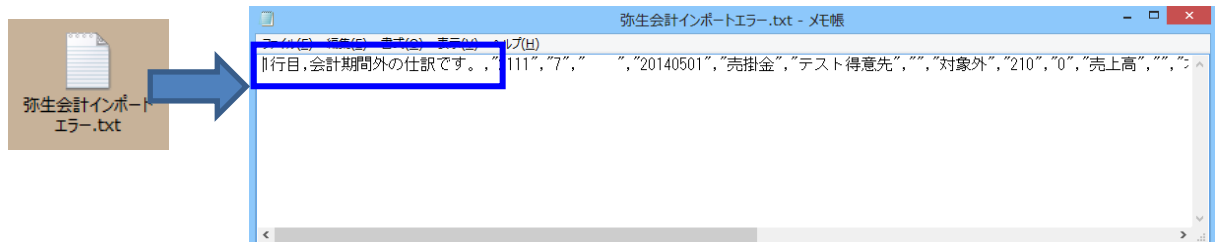
仕訳日記帳											
期間① 4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3 決 全期間① ジャンプ②											
決算 付箋1	調整 付箋2	日付 伝票No.	タイプ 生成元	借方勘定科目 借方補助科目 借方部門	借方金額 消費税額	貸方勘定科目 貸方補助科目 貸方部門	貸方金額 消費税額	借方税区分	貸方税区分	摘要	
		05/01	[振込]	売掛金	210	売上高	210	01	01	テスト得意先 7(7)	
		2		テスト得意先		本社				課税売上8%	別記
		05/20									
		3									

初期設定では、ふくろうから取込したデータは「付箋2」の箇所に付箋がついた状態となります。

何かデータに問題があると以下の確認メッセージが表示され、全件インポート中止となります。  
 エラー原因を取り除いて、再度インポートしてください。  
 再度インポートする場合は転記済分で出力することとなりますが、過去に取込済のデータを再取込しないよう運用に注意が必要です。（場合によっては弥生会計へ手入力で仕訳入力することをお勧めします）



エラーファイルは実行した端末のデスクトップに自動で作成されます。  
 ファイルを開いてエラー原因を確認してください。



仕訳連動に関する注意点、補足

- 仕訳時の税区分は弥生の税区分とマッチングして取込され税区分が自動適用されますが、消費税額はふくろう販売側で仕訳にセットされます。（弥生側で再計算されません）
- 設定されている連動用の補助科目、取引先、部門や仕訳設定科目は、仕訳作成処理時に都度最新のもの adopts されます。設定を途中で変更した場合、過去の仕訳を再作成すると、最新の設定で仕訳されますので注意してください。
- 弥生会計側では、同一伝票のインポート重複チェックはできません。同じ仕訳ファイルを何度もインポートすることが可能で、インポートする度に仕訳が重複されますので注意してください。
- 弥生会計でインポートしても、元のファイルは自動で削除されません。インポートしたデータは別フォルダに移動するなどの運用をお勧めします。（2重取込の防止）
- 出力ファイル名の最後尾には時分が付加されています。そのため、連続で出力した場合、同一分内であれば同じファイル名で上書きされる場合がありますので注意してください。